

自動走行システム 自己点検結果

#	審査の視点 (平均点) 外部専門家コメント	対応状況	理由
1	<p><u>研究開発の内容の重要性、妥当性 (2点)</u></p> <p>①…重要なテーマと考える</p> <p>②…自動車ビジネスにおいて新興国と差別化するためにも欠かせないテーマ。国を挙げて強気に推進すべきと考える。</p> <p>③…わが国の自動車産業は日本経済を支える重要な産業。世界のトップランナーであり続けるためにも本施策の意味合いは大きい。</p>	<p>①反映無</p> <p>②反映無</p> <p>③反映無</p>	<p>① ② ③「1.意義・目標、2. 出口戦略」に記載済み。</p>
2	<p><u>実用化・事業化への戦略性 (0.7点)</u></p> <p>①…どのようなロジックで産業活性化・雇用創出につながるかの明確化が必要</p> <p>②…「理想論」で進めると“ガラパゴス”になる可能性が否定できない。「国際連携で研究する」というアイデアはよいが、国がどこまでやり、民間に何を求めたいのか?「全体像」の明確化が必要</p> <p>③…自動走行機能を活かせる新たな市場は何なのか、どこにあるのか、さらに検討を深めることが必要。</p>	<p>①反映済・一部検討中</p> <p>②反映無</p> <p>③反映済・一部検討中</p>	<p>① ③「1.意義・目標(3)③」において、自動車業界の枠を越えた新たな産業創出とパッケージ輸出について言及。その実現のため、来年度以降、他分野の専門家も加え検討を進める。</p> <p>②「3. 研究開発の内容」については、目標と出口戦略を実現するために、官民双方が協調領域における研究開発で必要と考える項目を提示し、その方向性・内容をすりあわせた上で計画したものである。(研究開発計画図表3参照)</p>
3	<p><u>組織間連携 (産産、産学、府省) の有効性 (1.3点)</u></p> <p>①…幅広い官民連携で進めてほしい</p> <p>②…プランを見る限り、“網羅的”“総花的”という印象。各省庁から上がってきた項目を、“並べただけ”というのが率直な感想</p> <p>③…産業界については、IT産業等自動車業界以外の視点を入れてもよいのではないか</p>	<p>①反映済・一部検討中</p> <p>②反映無</p> <p>③反映済・一部検討中</p>	<p>①③「1.意義・目標および2.出口戦略、3.研究内容において、幅広い官民連携、国際連携、市民参画について言及。その実現のため、来年度以降、異分野の専門化、モデル都市を招き議論すると共に、国際的連携と市民参画の場をつくり、検討を進める。</p> <p>②「3. 研究開発の内容」については、官民双方から目標と出口戦略を実現するために、必要な協調領域の研究開発テーマを示し、その方向性・内容をすりあわせた上で計画したものである。社会的イノベーションを起こすには統合的アプローチが必要。今後、地に足のついた、総合最適化に汗を流し、大きな成果を結実させる。(研究開発計画図表3参照)</p>
4	<p><u>その他特記事項</u></p> <p>①…特になし</p> <p>②…ICTの「これから」の視点が不可欠。コンピューターが知能や判断力で人間の能力を超え始める。それが社会全体、自動車にどのような変化をもたらすのか? そういう中で、「自動運転」はどうあるべきか捉えるべき。</p> <p>③…特になし</p>	<p>②反映済・一部検討中</p>	<p>②「1.意義・目標 (3) ③」において、従来の自動車技術と産業の枠を越えた、新たな自動車の世界に言及。更に言えば、車がコモディティ化している現在、新しい価値の創生が必要。大きな産業と社会の飛躍をもたらす、その科学技術をSIP活動の中で研究開発し、IT総合戦略本部 道路交通分科会と協働で実装する。</p>

※点数は以下を基準にしています。

0点:改善が必要なもの

1点:妥当であるもの

2点:優れているもの